

★延期後の日程が確定しました★

弁理士会継続研修申請中

# 裁判例で学ぶ商標管理の実践的ノウハウ

～商標法の個別の条文からは気づかないリスク、対策、ノウハウを、  
商品企画、権利取得過程・取得後に分けて明解に解説～

難易度  
中級



2022.2.17(木)、18(金) いずれも13:30～16:30

講師：青木 博通 氏

ユアサハラ法律特許事務所  
パートナー・弁理士



LIVE



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &  
アーカイブ配信も実施(各講義翌日から1週間)

・聞き逃しても安心!期間内はなんども、再生速度を変更可能!



◆商標法の個別の条文からは気づかないリスク、対策、ノウハウを、商品企画、権利取得過程・取得後に分けて、裁判例も踏まえて具体的に解説します。トラブルになりやすい「やっかいな商標」も紹介します。

◆欧米では、製品の知的財産保護だけでなく、会社→顧客→アフターケアまでの顧客とのタッチポイントを、商標法、意匠法、不正競争防止法、著作権法を利用(知財ミックス)して守るブランド・マネジメントが一般的です。この手法についても、講義の後半に解説致します。

◆良かれと思ってやったことが、実は、ブランド・マネジメントとしてマイナスになることがあります。講義の最後にまとめとして、ブランド・マネジメントとしてやってはいけない10か条について解説します。

## 【解説内容】

### I 最近の商標を巡る裁判の動き

### II 商品企画・開発段階

1. ネガティブチェック
2. 商標調査のポイント
3. 商標の選択(どんな商標を選択すべきか)

### III 権利取得過程

1. 商標の識別性
2. 商標の類似と「取引の実情」(特許庁と裁判所の違い)
3. 新しい商品・役務(どの商品等をおさえるか)
4. 商品・役務の類似(特許庁と裁判所の違い)
5. 会社名を商標として登録する(商号商標の登録可能性)
6. 「半沢直樹」は登録できるか?
7. 一般条項「公序良俗違反」の射程範囲(キャラクター、小説のタイトル)
8. 証拠としてのアンケート調査・証明書(費用と有効性)
9. 包袋禁反言(File wrapper estoppel)
10. 条文にない拒絶理由(3条趣旨拒絶)
11. 同一人のレポート出願禁止に関する日本・世界の動向
12. 新しいタイプの商標と拒絶対応

### 13. トラブルになりやすい「やっかいな商標」

### 14. 権利者の使い分け(分類別、商標と意匠)

### IV 権利取得後

1. 商標の普通名称化・稀釈化→財産的価値ゼロへ
2. 商標ライセンスをめぐるトラブルの類型
3. 不使用取消審判への対応(2つの裁判例の流れ)
4. ブランド使用マニュアル

### V 商標権侵害・不正競争防止法事件への対応

1. 商標の類似(審決取消と侵害事件の違い)
2. ドメイン名・商号の使用と商標権侵害
3. 「購入後の混同」理論、販促品と商標権侵害
4. 商標権侵害否定の法理  
-商標機能論、商標的使用、商標法26条との関係
5. 登録商標の存在が抗弁にならない場合
6. 和解と商標の変更をめぐる問題
7. 警告状送付と信用毀損

### VI M&Aと商標(デューデリジェンス)

### VII 知財ミックスを利用したブランド・マネジメント

### VIII まとめ(やってはいけない10か条)

この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。

この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5単位が認められる予定です。

(※zoomにてご参加下さい。アーカイブ視聴は単位認定対象外です。)

◆受講料：会員17,500円・一般20,000円(※税込)

◆申込：http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu\_tanki.html

◆お問合せ先：(一社)発明推進協会 研修 TEL 03 3502 5439



お申込みページQRコード